

「京都女子大学国際化方針（2016～2020）」

京都女子大学は、創立以来、女性教育のパイオニアとして多様な分野で活躍する女性を輩出してきました。

本学では親鸞聖人の体した仏教精神を基調とした教育を行うことを建学の精神としています。その目的は、仏教を通して自己の姿を知ることにあります。私たちは、自己中心的なもの見方から逃れる事は出来ません。それを十分理解した上で、違った価値観を持つ人々と共に生きていかなければなりません。そこでグローバル社会の発展に貢献する女性人材の養成を目指して 2010 年にグランドビジョンの一つとして大学の国際化を定めました。「京都東山と世界を結ぶ大学」を目指して、学生を国際社会に送り出し、世界のさまざまな地域から学生を受け入れることができる大学にしよう。」とのグランドビジョンを達成するために、学長の強力なリーダーシップのもとで次の課題に取り組み、グローバル時代を生きる女性人材を育成します。

①学内の国際化

国際交流に関する学長のスピーディな意思決定をサポートする体制を構築したうえで、外国人教員及び外国人留学生の受け入れを推進し、受け入れに伴う環境を整備します。

② 学生の海外留学の促進

中長期留学や海外研修を推進し、プログラムの充実・拡大を図ります。また、多文化理解等を目的としたフィールドワーク等の充実にも取り組み、本学学生が海外で学修する機会を増やします。

③外国語教育の充実

全学共通の言語コミュニケーション科目及び各種語学研修を充実・発展させます。

④海外における就業力の育成、留学生の日本での就職支援

海外インターンシップ等の機会を設け、海外での就業力育成を図ります。また留学生の就職を支援します。

⑤海外大学等との連携

海外の大学と積極的に学術交流等協定を締結し、学生交流を中心とする教育連携（交換留学等）の拡充と、研究者交流を中心とする学術交流（共同研究等）の推進を図ります。

⑥大学所在地域の地方自治体・企業・地域住民等のグローバル化への貢献

外国人教員による公開講座の開催、外国人留学生の地域行事参加や企業インターンシップを促進し、留学生と地域住民との交流機会を設け、地域のグローバル化に貢献します。

◇具体的な方策及び数値目標

<協定大学の拡大>

留学生誘致のための大学案内（パンフレット）を作成すると同時に、協定大学開拓のための出張旅費予算を増やし、本学教職員が積極的に海外の大学と協議できる環境を整備・拡大することにより、2020 年度までに、海外における学術交流等協定大学を現在の 11 校から 30 校に拡大します。

<留学生受入れ>

留学生を確実に確保するために、留学生が常時 10 名以上滞在できる施設を確保・整備すると同時に、本学専任教員が留学生の相談窓口となる「アカデミック・アドバイザー」を配置す

る等、留学生の学習支援・生活支援体制を整備します。また、異なる語学レベルや関心を持つ留学生が、それぞれ目的意識を持って日本語習得に取り組むことができる学習環境を整え、留学生数の拡大だけでなく、その質的向上を目指します。

<日本語教育プログラムの創設>

2017年度より、外国の大学（主に協定大学）等で日本語を学んでいる学生等を対象とした「短期日本語・日本文化研修」（夏期3週間）を実施します。このプログラムは14名を定員としてスタートさせますが、2018年度以降、受入人数を拡大し、最終的には40名規模の研修として継続的に実施します。また、2018年度より、15名程度の受け入れが可能な「長期日本語教育課程」（半年間）を立ち上げ、日本の大学への留学を希望する学生の日本語教育に取り組みます。

<留学生派遣>

学生の留学を促進するために、グローバル意識の向上と言語コミュニケーション科目の充実を図ると同時に、留学先としての協定大学を増やし、長期（1年間）または半期（半年間）の留学生を、2020年度までに、現在の16名（過去最大実績34名）から70名に拡大します。

<外国語教育の充実>

正課の授業及び正課外の講座等において、TOEIC等を利用することにより外国語の習熟度を客観的に測るしくみを構築し、在学生の半数以上が外国語運用能力の向上を実感できるカリキュラムを構築します。また、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語の海外語学研修講座を実施して学生の参加を促し、すべての語学研修を継続的に実施します。

<海外における就業力の育成、留学生の日本での就職支援>

海外企業や日本企業の海外拠点でのインターンシップ等の機会を設け、海外でも就業できる力の育成を図ります。また留学生の日本企業への就職を支援します。